

## 逗子市廃棄物減量等推進員会議生ごみの分別収集・資源化に関する 制度設計（案）についての説明会 開催概要

- 【日 時】 令和4年6月3日（金）14時30分から16時00分まで
- 【場 所】 逗子市役所5階第3・4会議室
- 【出席者】 逗子市廃棄物減量等推進員41名（傍聴1名、欠席25名）  
（市）環境都市部 石井部長、青柳次長  
資源循環課 中村課長、森下係長、今村主事  
環境クリーンセンター 小川所長、鷺原副主幹
- 【内 容】 ○生ごみの分別収集・資源化に関する制度設計（案）について  
○逗子市廃棄物減量等推進員の募集について  
○質疑・応答

### 主な質疑応答

- ①有料化してからの費用対効果はどうなっているか。  
→大まかにいうと収入1億円に対し、指定ごみ袋の販売、製造等の経費が4000万円かかり、残りの6000万円をごみ処理経費に充当している。毎年広報2月号で周知している。
- ②生成した堆肥は有料なのか。またどのように配布する予定なのか。  
→有料か否かはこれから葉山町と協議していく。品質に問題なければ現状の堆肥と同様の配布方法を検討していきたいと考えている。
- ③排水溝や三角コーナーのネットごと生ごみとして捨てていいのか。  
→葉山町と検討中だが、葉山町の実証実験ではネットごと捨てており、そのようにしたいと考えている。
- ④燃やすごみは10円、生ごみは5円の袋ということだが、人によっては今まで10円で済んでいたものが15円になってしまう。特に単身世帯は影響が大きいのではないか。燃やすごみも生ごみと同様に5円とするべきではないか。  
→生ごみとの分別が始まると、燃やすごみの大半は鼻紙等の質量が軽いものになり、従来よりも捨てる頻度が減るため、単純に負担が増えるわけではないが、いただいた意見は今後しっかり検討していきたい。
- ⑤生ごみの収集頻度や曜日はどうなるのか

→これから受入れ側の葉山町と調整していくが、週2回、燃やすごみと同じ曜日で収集する予定である。

⑥収集車は2台で来るのか。

→燃やすごみは逗子市、生ごみは葉山町と持ち込み先が変わるため2台来る。

⑦生ごみを出すにあたりカラス等の対策は考えているか。容器に入れる等しないと荒らされるのではないか。

→現状はごみ散乱防止ネットで対策をしているが、ネットがしっかりかけられていない、分別がされていない等でカラスに荒らされてしまう事例もある。そのため、ごみの分別やステーション利用のルールを順守してもらうよう啓発していきたいと考えている。容器については難しい認識を持っている。

⑧違反ごみを見つけても、中身は確認しないよう言われているが、生ごみの分別が始まっても同様でいいのか。

→違反ごみに対して推進員が分別してしまうと違反者が気付くきっかけを奪ってしまい、その後の改善につながらない。市で対応するため、推進員にはそのままにしてもらいたい。